

各位

日本エアロゾル学会で公認していただいた、「山岳大気エアロゾル研究会」の立ち上げの第1回会合を行います。ご興味のおありの方は、ぜひご参加ください。

- 日時 7月13日（日曜日）15時～18時
- 場所 田町イノベーションセンター 609号室
<http://cic-hp.zam.go.jp/tokyo/access.php>

- 講演
日下博幸さん（筑波大学・生命環境科学研究科）

<http://air.geo.tsukuba.ac.jp/~kusaka/>

講演タイトル： 世界最新の気象モデルWRFについて

概要： NCARとNCEPが中心となって気象モデルWRFが開発されている。WRFは1km程度の分解能を持つ領域モデルとして開発されてきたが、現在、LES版や全球版が開発されており、任意の解像度、任意の領域で計算できるモデルになりつつある。講演では、WRFプロジェクトの概要、WRFモデルの概要、WRFモデルを使ったこれまでの筑波大の取り組みを紹介する。

- 皆巳幸也さん（石川県立大学・生物資源環境学部）

http://www.pref.ishikawa.jp/ishikawa-pu/guidance/teacher/environmental/e_minami.html

講演タイトル： 能登半島の降水を通してエアロゾルを見る

概要： 演者は、1998年から現在に至るまで、能登半島にある本学経営農場やその背後にある宝達山（標高637m）で降水の化学成分を中心とする大気観測を続けてきた。今回は、その全体的な流れにも触れながら、「標高」と「黄砂」をキーワードとしてお話ししたい。

- 研究会が遅い時刻となって恐縮です。日曜日の夕方なのであえて懇親会は設定いたしません。可能な方で会合後、夕食をお願いします。
- ご参加の有無をお知らせください。

お名前：

参加の有無： 参加できる 参加できない

ご意見・伝言・ご希望など：

山岳大気エアロゾル研究会

会長 五十嵐康人

気象研究所 地球化学研究部

vigarash@mri-jma.go.jp